

# IGM Seminar

日時:2017年7月6日(木)

時間:16:00~17:00

場所:IGM5階セミナー室

## 園下 将大先生

Postdoctoral fellow,  
Dept. Cell, Developmental and  
Regenerative Biology, Icahn School of  
Medicine at Mount Sinai, New York, USA



Title: ハエが教えてくれる抗がん剤のつくり方 -FLY me to amazing drugs!-

効果が大きく副作用の少ない抗がん薬を創りたい、使いたい——多くの人の昔からの願いですが、実際の創薬には大きな困難が伴います。多大な労力や時間、資金が必要となるなど多くの課題が存在し、そもそも「このようにすればいい薬を作ることができる」という明確な道筋は確立されていません。

この問題を解決すべく、我々は高効率で迅速な新規創薬基盤の開発に取り組んでいます。本セミナーでは、ショウジョウバエ遺伝学と創薬化学、計算機科学を融合したこの手法をご紹介します。我々は最近、この基盤を活用し、前臨床試験において既存薬よりも著しく高い抗がん効果を発揮するキナーゼ阻害薬を創出することに成功しました。創薬分野における本手法の意義や応用の可能性なども議論できればと考えています。

連絡先:藤田恭之(分子腫瘍分野) 内線5530